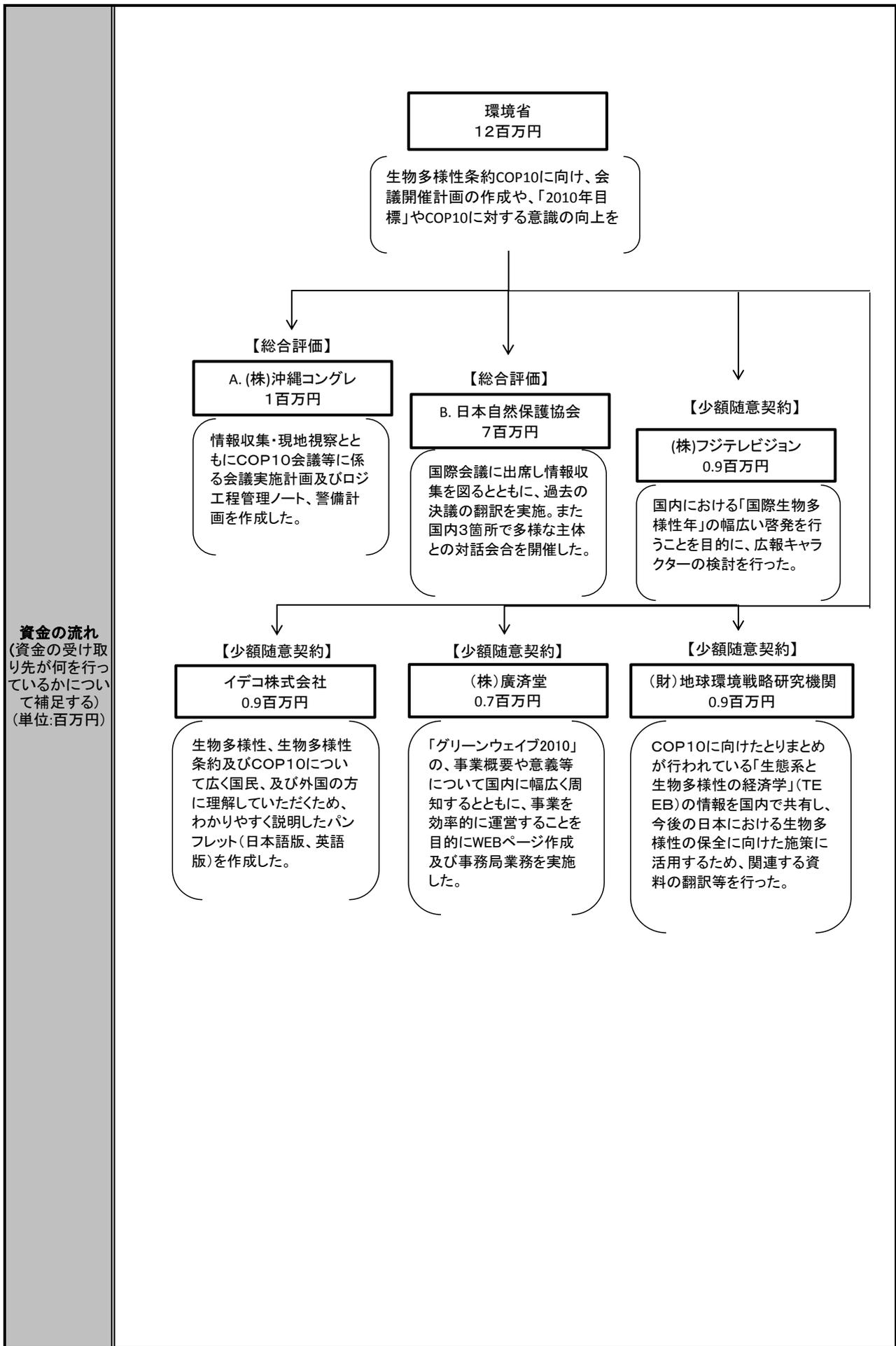


行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	第10回生物多様性条約締約国会議開催準備経費	事業開始年度	平成21年度	作成責任者		
担当部局庁	自然環境局	担当課室	生物多様性地球戦略企画室	室長 鳥居敏男		
会計区分	一般会計	上位政策	生物多様性の保全と自然との共生の推進			
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-	関係する計画、通知等	-			
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	本年2010年は国連が定めた「国際生物多様性年(IYB)」であり、また本年10月には生物多様性条約COP10が開催される。このため、IYBとCOP10開催に向けて、会議開催計画の作成や、2010年までに生物多様性の損失速度を顕著に減少させるという「2010年目標」、COP10に対する意識の向上を図る。また、COP10議長国としてこれまで以上に生物多様性保全に向けた貢献が期待されていることから、国内的、国際的な生物多様性に向けた取組をさらに推進していく。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	COP10会議開催計画の作成のためCOP9開催国(ドイツ)から、COPと平行して開催される閣僚級会合やサイドイベント等を含めた全体的な会議開催準備に関する情報収集を行う。生物多様性条約事務局の会議担当者を招へいし、会議開催に向けた条約事務局との調整を行う。 また、COP10とIYB等への気運を高め効果的な普及啓発を図っていくための広報ツールの作成等(パンフレット作成、ウェブサイト作成、キャラクター検討)を実施する。					
実施状況	平成21年度は、以下の事業を実施した。 ○情報収集・現地視察とともにCOP10会議に係る会議実施計画及びプロジェクト管理ノート、警備計画の作成を行った。 ○国際会議に出席し情報収集を図るとともに、過去の決議の翻訳を実施。また国内3箇所でも多様な主体との対話会合を開催し、COP10や2010年目標等に関する意識を高めた。 ○国内における「国際生物多様性年」の幅広い啓発を行うことを目的に、広報キャラクターの検討を行った。 ○生物多様性、生物多様性条約及びCOP10をわかりやすく説明したパンフレット(日本語版、英語版)を作成した。 ○「グリーンウェイブ2010」の周知と効率的な運営を目的として、WEBページ作成及び事務局業務を実施した。 ○COP10に向けたとりまとめが行われている「生態系と生物多様性の経済学」(TEEB)の情報を国内で共有し、今後の日本における生物多様性の保全に向けた施策に活用するため、関連する資料の翻訳等を行った。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	42	-	
	執行額	-	-	12		
	執行率	-	-	28.6		
	総事業費(執行ベース)	-	-	12		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	事業者とは綿密な連絡を取り、随時必要な調整を行った上で、適正な執行がなされるよう確認に努めている。成果物については報告書を精査し、当該事業の実施結果及び用途の確認を行っている。				
	見直しの余地	COP10開催準備経費は、21年度で終了。開催準備に必要な事業について内容を十分精査し効率的な執行に努めた結果、予算の一部が未執行となった。今後は生物多様性条約COP10の結果を注視し、COP10議長国として、国内的・国際的な生物多様性保全を推進し、また生物多様性の主流化を図っていくために必要な取組について十分に検討する。				
予算監視の効率						
補記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
		19年度	20年度	21年度		
		-	0	0		



資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
 (単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロック
 ごとに最大の
 金額が支出され
 ている者につい
 て記載する。使
 途と費目の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

A. (株)沖縄コングレ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	生物多様性条約COP10開催準備調査費	1			
計		1	計		0
B. 日本自然保護協会			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	生物多様性条約COP10開催準備調査費	7			
計		7	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0